

問1 小名浜（福島県いわき市）の気候統計をみると、八月の平均気温が二十四度台に対し、一月の平均気温は約四度で、さらに一月の降水量が年間の中でも特に少ないという特徴があります。このような太平洋側の気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 冬は湿った北西の季節風が奥羽山脈などの山々を越える際、水分を失って乾燥した空気が吹き下ろしてくるため。
2. 日本海を北上する対馬海流が水蒸気を供給し、山地を越えてフェーン現象を発生させ、冬の気温を押し上げるため。
3. 一年を通して寒流である親潮の影響を強く受けるため、夏は気温が上がりにくく、冬は冷たく乾いた空気が滞留するため。
4. 内陸部に位置しているため、冬は海からの温かい空気の影響を受けにくく、放射冷却によって降水量が減少するため。

問2 東北地方の太平洋側から吹く冷たい風「やませ」が、中央に位置する奥羽山脈に遮られることで発生し、夏の気温が上がらずに米の不作などの深刻な被害をもたらす現象を何といいますか。（2020年 北海道公立入試 類似）

1. 冷害
2. からっ風
3. フェーン現象
4. 干害

問3 近年、内陸部において高速道路のインターチェンジ付近に「工業団地」が造成され、工場が進出するケースが増えています。その立地理由として最も適切なものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため
2. 原材料の輸入や製品の輸出に便利な、大型船が入る港湾が近い
3. 古くから豊富な地下資源があり、燃料の調達が容易であるため
4. 周辺に大消費地があり、製品を直接消費者に販売しやすい

問4 日本の農業に関する統計において、田と畑を合わせた「耕地面積」のうち、稲作が行われる「田の面積」が占める比率のことを何と呼びますか。（2021年 香川公立入試 類似）

1. 耕地面積に占める田の割合
2. 国土面積に占める農地の割合
3. 田の面積に占める畑の面積の割合
4. 農家数に占める専業農家の割合

問5 日本の農業に関する統計において、東北地方が全国の産出額の24.1%を占め、産出額上位10府県の多くが東北地方や北陸地方の日本海側に集中している農作物はどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 米
2. 野菜
3. 果実
4. 畜産

問6 東北地方に位置する宮城県と岩手県の産業や特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。
2. 宮城県はリンゴの生産量が全国第1位であり、岩手県は県庁所在地の秋田市を中心に「あきたこまち」の生産が行われている。
3. 宮城県は南部鉄器の生産が伝統的に盛んであり、岩手県は仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などのブランド米の栽培が集中している。
4. 宮城県は東北地方の日本海側に位置して最上川の稲作が盛んであり、岩手県は日本地図で宮城県の南側に隣接している。

問7 東北地方の交通網と産業の関連について述べた次の文の空欄に、地理的な位置関係を踏まえてあてはまる県の組み合わせを選びなさい。「東北新幹線や東北自動車道の整備により、沿線にはIC（集積回路）などの工場が多く進出した。東京方面から進むと、新幹線は関東地方の（ ① ）を通り、東北地方の南の玄関口である（ ② ）へと入っていく。」（2017年 岡山公立入試 類似）

1. ①栃木県 ②福島県
2. ①埼玉県 ②山形県
3. ①栃木県 ②宮城県
4. ①群馬県 ②福島県

問8 岩手県宮古市などの統計において、1993年や2003年の7月の平均気温が例年よりも著しく低下し、同時期の岩手県全体の米の収穫量が激減した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 長野県公立入試 類似）

1. 冷たく湿った北東風が長期間吹き込み、記録的な冷夏となったため
2. 山を越えて吹き降りる乾燥した高温の風により、水分不足が起きたため
3. 冬の季節風が強く吹き込み、春先まで積雪が残って作付けが遅れたため
4. 太平洋高気圧の勢力が強まり、連日猛暑が続いて干ばつが発生したため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬は湿った北西の季節風が奥羽山脈などの山々を越える際、水分を失って乾燥した空気が吹き下ろしてくるため。	日本の冬は北西の季節風が吹きますが、小名浜などの太平洋側の地域では、この季節風が日本列島の中央を走る山脈を越えるときに雪や雨を降らせ、水分を失います。その結果、山を越えた太平洋側には乾燥した空気が吹き下ろすため、冬の降水量が少なく晴天の日が多くなります。また、小名浜は沿岸部にあるため、暖流の影響で冬の気温が比較的下がりにくいという性質も併せ持っています。
問2	答え 1 冷害	オホーツク海から届く冷たい風によって、夏になっても農作物の成長に必要な気温まで上がらない状態を指します。特に奥羽山脈よりも東側の地域では、この風の影響で厚い雲が発生しやすく、日照不足と低温が重なることで稲などの生育に大きな打撃を与えます。
問3	答え 1 高速道路を利用したトラック輸送など、交通の便が良いため	高速道路の整備により、内陸部からでも空港や大都市圏へ短時間で製品を輸送できるようになったことが主な理由です。特に半導体などの軽量で高価な製品は、船ではなくトラックや飛行機で運ばれることが多いため、港湾よりも高速道路や空港へのアクセスが重視されます。選択肢にある「港湾が近い」というのは、鉄鋼業や石油化学工業などが集まる「臨海工業地帯」の立地理由です。
問4	答え 1 耕地面積に占める田の割合	日本の耕地は大きく「田」と「畑」に分けられます。この両者を合わせた合計面積に対する水田の比率を算出することで、その地域がどれほど稲作に特化しているかを知ることができます。これは土地利用の特色を示す重要な指標となります。
問5	答え 1 米	秋田県や山形県、新潟県などを含む東北・北陸地方の日本海側は、広大な平野と豊富な水資源に恵まれており、古くから日本の「穀倉地帯」として知られています。特に東北地方においては、農業産出額の約4分の1をこの農作物が占めており、日本の主食を供給する重要な役割を担っています。
問6	答え 1 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。	宮城県は東北地方最大の都市である仙台市を抱え、仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が非常に盛んです。一方、岩手県は宮城県の北側に位置しており、盛岡市や奥州市などを中心に生産される「南部鉄器」が伝統的工芸品として全国的に有名です。選択肢にあるリンゴの生産1位は青森県、秋田市やあきたこまちは秋田県の説明です。また、最上川は山形県を流れる河川であり、宮城県と岩手県はいずれも太平洋側に位置しています。
問7	答え 1 ①栃木県 ②福島県	東北新幹線は関東地方の北部に位置する栃木県を通過し、県境を越えて東北地方で最も南に位置する福島県へと繋がります。この高速交通網の整備によって、小型で軽量かつ付加価値の高いIC（集積回路）などを製造する工場が、高速道路のインターチェンジや新幹線駅の周辺に多く立地するようになりました。これを「シリコンロード」と呼ぶこともあります。
問8	答え 1 冷たく湿った北東風が長期間吹き込み、記録的な冷夏となったため	1993年や2003年は、オホーツク海高気圧から吹く「やませ」が強まったことで、東北地方の太平洋側を中心に深刻な冷害が発生しました。低温と日照不足が重なったことで、米の収穫量が平年の半分以下になるなどの大きな被害が出た背景があります。